



Leçon 5

定冠詞

L'article défini

レッスンのポイント：

- 定冠詞：特定の事物を指す場合
- 定冠詞：一般的な事物を指す場合

Points de la leçon:

- L'article défini : sens précis
- L'article défini : sens général

イントロダクション

Introduction

1:55

- Laurence : Je suis allée voir un concert de musique classique hier. Tu aimes la musique classique ?
- Satoshi : Oui, j'aime bien ça. En général, j'écoute du rock, mais j'aime bien la musique classique aussi. Le concert était bien ?
- Laurence : Oui, très bien. La salle était un peu trop petite, mais les musiciens étaient excellents.
- Satoshi : Tu as de la chance de pouvoir sortir comme ça. Moi, le soir je travaille...



- ローレンス： 昨日の夜、クラシックのコンサートに行ってきたの。クラシックは好き？
- さとし： うん、好きだよ。普段はロックを聴いているけど、クラシックも好きだよ。コンサートは良かった？
- ローレンス： ええ、とても良かったわ。会場は少し小さすぎたけど、演奏者たちは素晴らしいかったわ。
- さとし： そんな風に出かけられるっていいなあ。僕は夜働いているからなあ...

発音

Prononciation

半母音 / 長母音化①

1. 半母音 [ɥ] [j] [w]

● 複数の母音が並んでいても、Leçon 3 や Leçon 4 で述べた複母音のリストに当てはまらない場合があります。たとえば、ai, ei なら [ɛ] ですが、ia, ie はリストにありません。このような場合、2 つ並んでいる母音のうちの前の方の母音が半母音という弱い母音に変わります。たとえば i[i] の半母音は [j] という発音記号で示され、実際の発音は、[i] と言いかけて、すぐに次に続く母音を発音します。(Pierre [pjɛ:r])

● [i] 以外の母音でよく半母音になるのは [y] と [u] です。[y] の半母音は [ɥ]、[u] の半母音は [w] となりますが、どちらも [i] と同様、[y]、[u] と言いかけて、すぐに次の母音を発音します。(nuît [nɥi]、oui [wi])

2. 長母音化①：母音＋語末の [r] [z] [ʒ] [v] のとき

● 語末の発音が [r] [z] [ʒ] [v] のいずれかで終わるとき、その前の母音は長く発音されます。これを長母音と呼び、[:] の発音記号で示します。(professeur [profesœ:r] française [frɑ̃sɛ:z] fromage [fʁoma:ʒ] élève [ele:v])

⇒ 実際に発音してみましょう！

1:56

i + 母音	[j]	Pierre	[r]の発音で終わるとき	professeur
u + 母音	[ɥ]	nuît	[z]の発音で終わるとき	française
ou + 母音	[w]	oui	[ʒ]の発音で終わるとき	fromage
y + 母音	[ɥ]	yaourt	[v]の発音で終わるとき	élève

重要動詞

Verbes 1:57

aller

行く

je	vais
tu	vas
il / elle	va
nous	allons
vous	allez
ils / elles	vont

venir

来る

je	viens
tu	viens
il / elle	vient
nous	venons
vous	venez
ils / elles	viennent

1 定冠詞の基本

定冠詞は、あるものを特定して話すとき（ポイント 1）や、あるものを一般的な意味で話すとき（ポイント 2）に用います。
また、前置詞 **à** と **de** が男性形単数（**le**）／複数（**les**）の定冠詞の前に置かれると、前置詞と定冠詞の間で縮約が起こります。

定冠詞		
	男性形	女性形
単数	le	la
	l' (母音の前)	
複数	les	

定冠詞の縮約		
	「à」 の場合	「de」 の場合
男性形単数	à + le → au	de + le → du
複数	à + les → aux	de + les → des

2 定冠詞：特定の事物を指す場合

あるものを特定して話すときは、下の 2 つのパターンがあります。

(1) 1 つしかないものについて話すとき



le musée d'Orsay
オルセー美術館



la Lune
月

(2) 何について話しているのかがはっきりと分かっているとき



Où est la clef ?
鍵はどこかしら？

使ってみましょう

Application

1. 例を参考にして、空欄に「à」及び「de」と定冠詞を組み合わせたものを書き入れましょう。

例: le musée → au musée / du musée

① l'université → _____ université / _____ université

② le cinéma → _____ cinéma / _____ cinéma

③ la gare → _____ gare / _____ gare

2. 単語を入れ替えて、会話練習をしましょう。



A : Rendez-vous **au musée** ?

B : OK, rendez-vous en face
du musée.

1	le musée	美術館
2	l'université	大学
3	le restaurant	レストラン
4	la cafétéria	カフェテリア
5	la gare	駅
6	le supermarché	スーパー
7	le cinéma	映画館
8	la mairie	市役所

ポイント2

定冠詞：一般的な事物を指す場合

Point 2

L'article défini : sens général

1 定冠詞：一般的な事物を指す場合

あるものを一般的・抽象的・概念的な意味で話すときにも定冠詞をつかいます。例えば、「～が好き」というような場合です。



Les Français ont beaucoup de vacances.
フランス人は休みが多い。



Nous aimons le football.
僕たちはサッカーが好き。

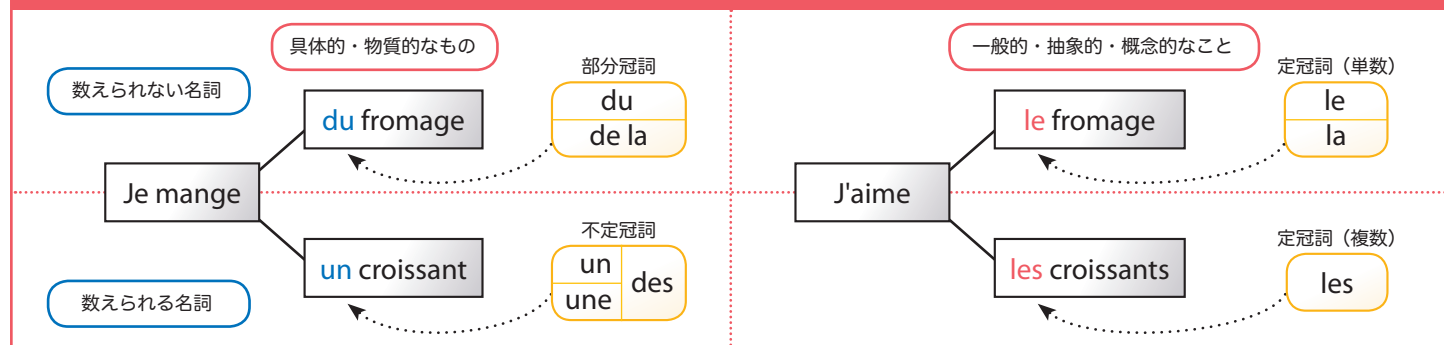


La vie est belle !
人生は美しい！

2 単数形 / 複数形の使い分け

あるものを一般的・抽象的・概念的な意味で話す場合、数えられる名詞には定冠詞を**複数形**で使い、数えられない名詞の場合は**単数形**で使います。

冠詞の使い分け



使ってみましょう

Application

1. 例を参考に、空欄に「定冠詞＋名詞」を書き入れましょう。

例: Je mange du pain. → J'aime le pain.

① Je mange du riz. → J'aime _____.

② Je mange de la soupe de miso.

→ J'aime _____.

③ Je mange du poisson. → J'aime _____.

④ Je mange un yaourt. → J'aime _____.

⑤ Je mange un fruit. → J'aime _____.

⑥ Je mange des céréales. → J'aime _____.

⑦ Je mange des œufs. → J'aime _____.

2. 単語を入れ替えて会話練習をしましょう。



1-62

A: Est-ce que tu manges du pain le matin ?

B: Non, je n'aime pas beaucoup le pain.

				1-63	
1	du pain	パン	5	un yaourt	ヨーグルト
2	du riz	ごはん	6	un fruit	果物
3	de la soupe de miso	みそ汁	7	des céréales	シリアル
4	du poisson	魚	8	des œufs	卵

練習問題

Exercices

ポイント1

A. 正しい冠詞 (または前置詞 + 冠詞) に○をつけましょう。

- Il travaille [**au** / à l'] Hôtel de Paris.
- Je viens [**du** / de le] cinéma.
- Ils travaillent dans [l' / **un**] hôpital.
C'est [l' / **un**] hôpital Necker.
- Tu vas [**à la** / à l'] bibliothèque ?
- Elle est étudiante à [**une** / l'] Université de Paris.

B. フランス語でノートに書いてみましょう。

- 大学で昼食をとりますか?(vous / 標準的な言い方)
- 私たちは毎日(tous les jours) 図書館で勉強します(étudier)。
- 彼女は学生たちに話しています。
- 私はレストランでアルバイトしています。
- 彼らはある駅の近くに住んでいます。

ポイント2

A. 正しい冠詞を書き入れましょう。

- Je bois _____ bière. J'aime _____ bière !
- J'aime bien _____ pain, mais je préfère _____ croissants.
- Tu aimes _____ animaux ?
- Les Japonais aiment _____ pain mais ils préfèrent _____ riz.
- J'adore _____ chats. J'ai _____ chat, il s'appelle Marron.

B. フランス語でノートに書いてみましょう。

- 魚が好きですか?(tu / くだけた言い方)
- フランス人はエスカルゴ(escargot: 男)を食べます。
- 私はチーズが好きですが、フルーツのほうが好きです。
- 紅茶(thé anglais: 男)と日本茶(thé japonais: 男)とどちらのほうが好きですか?(vous / 標準的な言い方)
- 私はミネラルウォーターを飲みます。ワインは好きではありません。

読んでみる

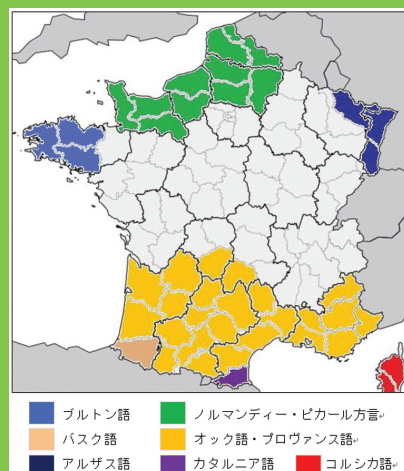
1-64

下の文章は、シェアメイト (co-locataire) を探す広告です。日本語に訳してみましょう。



L'appartement *est situé dans le centre de Paris, près de la station de métro Châtelet. L'appartement *comprend un séjour, une cuisine, deux chambres et une salle de bains. Le séjour est grand et agréable. La salle de bains est petite mais pratique. Le quartier est sympa, il y a beaucoup de magasins *à proximité. Les voisins sont gentils. Je suis étudiant en médecine à l'université de Paris X. Je suis calme et ordonné. J'aime la lecture et le sport. Je cherche un ou une co-locataire qui aime les chats, *car j'ai deux chats.

- * est situé : ~にある
- * comprend : ~を含む、~がある
- * à proximité : 近くに
- * car : というのも



コラム：フランスのほかの言語

フランスでは、方言やなまりはほぼなくなっていました。ですが、フランス国内で話されている言語はフランス語だけではありません。東部ではアルザス語およびその他のドイツ語の方言、南部ではオック語やその他のロマンス系の言語、西部ではブルトン語(ケルト系の言語)、そして海外県・領土ではタヒチ語などのさまざまな言語が話されています。

Leçon 5

定冠詞

L'article défini

→ 教科書 pp.28 - 31

■ ポイント1 のメモ Mémos Point 1 :

【定冠詞：特定の事物を指す場合】

1. 定冠詞は、「あるものを特定して話す」とき (Point 1) や、あるものを「一般的な意味で話す」とき (Point 2) に用います。「あるものと特定して話すとき」の使い方は、大きく 2 つのケースに分かれています。

①1 つしかないものについて話すときに用いる：la lune 「月」、le soleil 「太陽」、l'État 「国家」など。

②何について話しているかがはっきりと分かっているときに用いる：la gare Ueno 「上野駅」のように普通名詞が固有名詞に結びついている場合はもちろんですが、話題にされている名詞が文脈から明らかに特定できる場合にも使われます。例えば J'habite près de l'université. 「私は大学の近くに住んでいます」と言えば、ここでの「大学」は話し手が通っている大学であると理解されます。これに対して、J'habite près d'une université. 「私は大学の近くに住んでいます」と言った場合は、この大学は数ある大学の中の不特定の大学を指しています。また、会話では初めて話題にのぼる名詞には不定冠詞や部分冠詞が用いられ、それ以降は定冠詞が用いられることがよくあります。これは、何について話しているのが話者のあいだで了解されているからです。

例：J'achète du pain et du fromage (部分冠詞) . Le fromage (定冠詞) vient de France.

パンとチーズを買います。チーズはフランス産のものです。

2. 定冠詞は母音（もしくは無音の h）で始まる名詞が後につづくと、なめらかに発音できるようにエリジョンやリエゾンが起こります。

3. 前置詞 à と de が定冠詞の前に置かれると、前置詞と定冠詞のあいだで縮約が起こります。ただし、エリジョンを起こしている定冠詞と名詞の前では縮約は起こりません。

■ ポイント1：もっと詳しく...

1. 特別な定冠詞の使い方

①大陸名、国名、地方名、山や河川や海の名前には定冠詞が付けられます：l'Asie, la France, la Normandie, les Alpes, la Seine, l'Atlantique など。ただし、普通、町の名前には冠詞はつきません。

②固有名詞に定冠詞複数形がつくと「〜家」「〜族」を意味します。Les Dubois 「デュボワさん一家」

■ ポイント2 のメモ Mémos Point 2 :

【定冠詞：一般的な事物を指す場合】

1. あるものを「一般的な意味で話す」ときにも定冠詞を用います。例えば Les Français aiment le fromage. 「フランス人はチーズが好きです。」という表現では、定冠詞はフランス人全般とチーズ全般を指しています。特に、aimer 「〜が好きだ」 préférer 「〜の方が好きだ」という動詞には定冠詞がよく用いられます。「私はコーヒーが好きです。」は J'aime le café. (定冠詞)、「私は野球が好きです。」は J'aime le baseball. (定冠詞) というのがふつうです。これに対して「コーヒーを飲みます。」は Je bois du café. (部分冠詞)、「コーヒーを一杯飲みます。」は Je bois un café. (不定冠詞)、「私は野球をします。」は Je fais du baseball. (部分冠詞) となります。

2. あるものを「一般的な意味で話す」場合、数えられる名詞には定冠詞を複数形で使い、数えられない名詞の場合は単数形で使います。例：la cuisine française 「フランス料理」、la liberté 「自由」、les jeunes 「若者」、les Français 「フランス人」など。したがって、boire 「飲む」や manger 「食べる」とともに「飲み物」や「食べ物」が部分冠詞や不定冠詞をとまって用いられている場合には少し注意が必要です。これらの名詞を aimer 「〜が好きだ」などの後において一般的な意味で使うときは、部分冠詞は定冠詞単数形に、不定冠詞は定冠詞複数形にしなければなりません。

例：Je mange du fromage. / J'aime le fromage.

⇔ Je mange un croissant. / J'aime les croissants.

3. なお、J'aime les lapins. 「うさぎが好きです。」と言った場合は、「うさぎを可愛らしいと思っている」という意味になります。それに対して、J'aime le lapin. 「うさぎが好きです。」と言った場合は、「うさぎを食べ物としておいしいと思っている」という意味になります。冠詞の選択ひとつでフランス語の意味が変わってしまうのです！

文法メモ Mémos grammaticaux

Ex. 次の文のフランス語訳を考えてみましょう。

ライオン (lion (男性)) は家畜 (animal (男性) domestique) ではありません。 (→ 解答は21ページ)

Leçon 6

所有形容詞と品質形容詞

Les adjectifs possessifs et les adjectifs qualificatifs

→ 教科書 pp.32 - 35

■ ポイント1 のメモ Mémos Point 1 :

【所有形容詞】

1. フランス語の所有形容詞は名詞の性別や数に応じて形がかわります。たとえば同じ「私の～」と言いたい場合でも、単数の男性名詞には mon、単数の女性名詞には ma、男性名詞でも女性名詞でも複数には mes を使います。ただし単数の女性名詞であっても母音や無音の h で始まる名詞の場合は、ma のかわりに mon を使います。このような例外は二人称の ton と ta や三人称の son と sa のあいだにも見られます。

2. 三人称の son、sa、ses は所有者が人でも事物でもかまいません。例：les étudiants de l'université → ses étudiants

3. 母音もしくは無音の h で始まる名詞は発音に注意しましょう。リエゾン (mon amie, mes amies) やアンシェヌマン (notre amie) が起こります。

■ ポイント2 のメモ Mémos Point 2 :

【品質形容詞】

1. フランス語の品質形容詞はそれが修飾する名詞の性別と数に応じて変化します。この変化は名詞につけて用いる場合 (限定用法) でも、être を介して主語の属詞 (英語の補語) として用いる場合 (叙述用法) でも同じです。ただし C'est ～ の補語は常に男性単数形です。

原則的に以下のように変化します。

- 男性形 + e → 女性形 (grand → grande)
- 単数形 + s → 複数形 (grand → grands, grande → grandes)

但し、次のような例外があります。

＜男性形→女性形＞

- ① -e で終わる男性形 = 女性形 (triste → triste)
- ② -en、-on で終わる男性形
→ 女性形は -ne (bon → bonne)
- ③ -eux で終わる男性形
→ 女性形は -euse (joyeux → joyeuse)
- ④ -er で終わる男性形
→ 女性形は -ère (léger → légère)
- ⑤ -el で終わる男性形
→ 女性形は -elle (réel → réelle)
- ⑥ -et で終わる男性形
→ 女性形は -ète (complet → complète)
- ⑦ 例外的な形容詞：vieux / vieille, beau / belle など

＜単数形→複数形＞

- ① s / x で終わる単数形 = 複数形 (gris → gris, heureux → heureux)
- ② -al で終わる単数形
→ 複数形は -aux (amical → amicaux)
- ③ -eau で終わる単数形
→ 複数形は -eaux (beau → beaux)

2. ふつうフランス語の品質形容詞は名詞の後に置かれますが (後置修飾)、bon (bonne) 「よい・おいしい」、petit (petite) 「小さい」、grand (grande) 「大きい」など、日常的によく使われる短い形容詞には名詞の前に置かれるものもあります (前置修飾)。

■ ポイント2：もっと詳しく...

1. 名詞の前に置かれる形容詞には次のようなものもあります。() 内は女性形です。

beau (belle) 「美しい」 nouveau (nouvelle) 「新しい」
vieux (vieille) 「古い、年老いた」 jeune (不変) 「若い」 joli (jolie) 「かわいらしい」 mauvais (mauvaise) 「悪い・不味い」

2. beau, nouveau, vieux などの形容詞は母音や無音の h で始まる男性名詞の前に置くための特別な形を持っています。たとえば、beau を男性名詞単数の oiseau 「鳥」に用いるときは beau oiseau ではなく bel oiseau となります。これと同様に nouveau は nouvel、vieux は vieil という形を使います。

3. 前に形容詞が置かれた複数名詞に不定冠詞 des を用いる場合は、de という形に変わります。

une belle maison 「きれいな家 (単数)」 ⇒ de belles